

ピアノ アドバイザー



坪山 恵子

宇都宮市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。2011年より2年間ドイツのニュルンベルクにてヴォルフガング・マンツ氏のレッスンを受け研鑽を積む。

2000年栃木県ピアノコンクール大賞受賞 ソロリサイタル開催。

2005年ウィーン講習会 修了演奏会出演 於：ウィーン・ウィーン国立大学ホール。

2007年第2回栃木県ピアノコンクール コンチェルト部門上級第1位・コンチェルト賞受賞。

2008年第3回栃木県ピアノコンクール G級第1位・栃木県知事賞・志鳥賞受賞。

2009年栃木県ピアノコンクール志鳥賞受賞記念によるソロリサイタル開催。

2010年栃木県ピアノコンクールコンチェルト賞受賞者による演奏会出演。

2011年カトヴィツェ講習会 修了演奏会出演 於：ポーランド・カトヴィツェアカデミー。

2011年サロンコンサート開催 於：ドイツ・エアランゲン 教会。

2012年サロンコンサート 於：ドイツ・ニュルンベルク カフェ St.ヨハネス。

2017年第41回 ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージズ A1 カテゴリー及びグランミュージズ D カテゴリー 全国決勝大会入選。

ピアノを川名雅美、川名悟、松崎伶子、アンナ・マリコバ、ヴォルフガング・マンツ各氏に師事。

現在、宇都宮共和大学子ども生活学部専任講師、宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師。

「ピアノとオーケストレーション」

1. はじめに

ピアノ以外の楽器について知っていること、触れたことはありますか？

ピアノを学んでいる人は、もちろんピアノの練習を一生懸命し、難しいピアノ曲を弾けるようにし、時には音楽理論を学んだりしていると思います。しかし、音楽を大きく捉えてみると・・・見える世界が変わってくると思います。

また、本番当日はどのように過ごしていますか？自身の頭が働くピークの時間は把握していますか？

2. オーケストレーション

ピアノ以外の楽器について知っていること、触れたことはありますか？と問いましたが、私自身、実際にピアノ以外の楽器を弾いたり吹いたりしながら学んだことはありません。

ピアノという楽器は、メロディーや伴奏、ハーモニーも全て一緒に奏でることができ、1つの楽器、ソロだけの演奏で完結することができる素晴らしい特徴を持った楽器だと思います。

そのピアノでより一層素晴らしい演奏をするためには、オーケストレーションを学ぶとよいと思います。

ピアノは実際ピアノの音しか出ませんが、ここはヴァイオリンの音色、チェロの音色、その上にフルートが重なって・・・など、他楽器のイメージを持って弾くと、本当に音色が変化したように聴こえます。表現の幅が広がります。実際に連弾の曲などは、原曲が交響曲だったり他楽器の曲だったり、原曲のCDを聴いて勉強することが多いと思います。その場合、他楽器のイメージはしやすいと思いますし、よりその楽器に近いイメージで弾くことができると思います。しかし、ピアノの曲になると、他楽器の音色をしっかりと

把握していないとイメージして弾くことは難しいと思います。

実際にピアノ以外の楽器を学ぶということではできませんが、自身が弾く曲の作曲家がピアノ以外のどのような曲を作曲しているかなど、オーケストラや他楽器のCDを聴いてみるととても勉強になり、表現するパーツが増えると思います。

3. 本番当日の過ごし方

みなさんは本番当日の朝はどのように過ごしていますか？

コンクールや演奏会、発表会など様々な本番があります。また、それぞれ始まる時間も毎回違うと思います。

私が心掛けていることは、演奏時間の4～6時間前には起きるということです。朝が早い本番もあるので、時間に幅を持たせましたが基本的には6時間前がベストだと思っています。いろいろな説がありますが、起きてから頭が働くピークの時間との関係です。

起きてすぐ練習しなくてはいけないということではなく、ご飯を食べたり、ゆっくりしたり、好きなことをする時間として過ごしてもよい時間です。起きてすぐの演奏は頭がまだよく働いていないのでいつもの実力を十分に発揮できない可能性があります。

人それぞれの感覚は違うので、この時間が必ずよいとは言いきれませんが、自分の実力が十分に発揮できる起床の時間を見つけ、本番当日の流れを身につけるとよい演奏ができると思います。

本番が遅い場合は、仮眠を少しとることをお勧めします。

～まとめ～

レッスン室で演奏する、大ホールで演奏する、教会で演奏する、外で演奏する・・・演奏する場所はたくさんありますが、それぞれその場にあった音色を出さなくてはなりません。ピアノは自分の楽器を持ち運ぶことはできません。その会場のピアノの感触をたった一音奏でた瞬間に把握し、調整し

なくてはなりません。耳をよく使い、響きをよく聴き、演奏につなげていってほしいと思います。

ピアノとオーケストレーション、本番当日の過ごし方についてお話してきましたが、音楽とは、大きな世界、未知にあふれている世界です。想像力を高めて日々、練習に励んでもらえたらと思います。そして、自身の個性を大切に表現していってほしいと思います。

